日本女醫會誌
復刊第41号

一九七〇年々頭に当って

会長　三神美和

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えられ会員の皆様にはそれぞれ心も新たに、さまざまのご計画を樹てておられることと存じます。わが日本女医会もいよいよ本年は世紀の大事業にとりくまねばならなくなりました。皆さまと共に大いに頑張りたいと存じます。旧年にもまして一層のご協力をお願い申し上げます。

ふり返って昨年の出来ごとを思いますと、昨年も亦日本女医会にとっては画期的な年であったと思います。第一にかねての念願でありました社団法人の設立が出来たことであります。多くの方々のご援助とご協力の賜物でありましたことを身にしみて感じたことでありました。第二に初の吉岡弥生賞が個人お二人と一団体に授与されたことであります。社会的に貢献された方々がはじめての授賞者になられたことはまことに意義深いものと存じます。

私共女医の活動の指針を示されたものといえましょう。第三に万国博医療サービスえの準備の年でありました。まづルーペンダンの配分、募金など資金面について会員の皆さまにかずかずのご配慮を頂きました。また役務提供えの人数割当についても一方ならぬご協力を頂きました。この様に昨年はひたすら今年に向っての準備の年であったと言えましょう。お蔭様で昨年暮までに資金面においてもまた人員配置についても略々目的に達したようであります。そこでいよいよ本年は更に万全を期して細かい計画をたてて、万博医療えのサービスを行なわねばなりません。

本年度の本会の事業は万博役務提供一色に塗りつぶされるといっても過言ではありません。日本の女医の面目にかけてやり遂げねばなりません。会員の皆様!!　とくに役務提供を申し出られた皆様!!　何卒よろしくお願い申し上げます。お差支えの出来ました時は至急ご連絡下さい。一ヵ所でも女医不在の場をつくってはならないのです。常に六ヵ所に女医と看護婦とが待機していなければならないのです。責任をもって持場を堅持して頂く様切にお願い申し上げます。

一月廿四、五日にかけて常任理事会を現地大阪で開き、現場に則した具体的計画を協議するつもりでおります。その結果は追ってご参加の皆様方にお知らせ申し上げたいと思います。

本年二月には第十二回国際女医会がオーストラリアの首都メルボルンで開催され、また会議えは四七名が出席されます。まことによろこばしいことであります。日本女医会の事業目的の一つである国際交流が、このように年毎に盛んになってゆくことは会員の気持を、眼を、広く世界に向けるのに役立つものと思います。

日本が国家として国際的に重要視されるようになりました一九七〇年代において、私共女医もまた国際人として立ち向えるようになって行かねばならないと思います。万国博といい、国際女医会といい、まさに私共が国際的感覚を養いまた試みる絶好の機会と考えます。万国博がこの国際女医会の年に開かれるということで諸外国の女医の訪日がより頻繁になると思います。一方には万博医療えの奉仕、他方には外国女医えの接待とまことに目まぐるしいことでありますが、その衝に当られる方々のご協力を心からお願い申し上げます。

今年は社団法人としての第一回総会が開かれる年であります。同時に役員改選の年でもあります。五月開催予定の総会は万博医療サービスの真最中でありますので、事務処理上到底満足の総会は開かれさうもありません。そこで定款による予算決算の審議と吉岡弥生賞授与のみを行ない、役員改選などは秋臨時総会を開いて行なったらどうかと考えておりますが、何れ理事会にかけて最終的決定を致したいと思います。

三年越懸案の医療費値上げはついに年を越し今年に持ち越されました。開業の方々や病院をあづかる私共にとってまことに痛いことであります。年毎に五〜七%の物価上昇をつづける現代に医療費だけ二年も三年も据え置かれるのは不合理極まることと言えましょう。

入院料一日千円足らずで到底やってゆけるものではありません。支払者側に牛耳られているいまの医療制度を何とか改革しなければならないことを痛感致します。私共も日本医師会と力を合せてこの医療問題にもじっくりと取り組まねばならないと思います。

一九七〇年は万国博を皮切りに私共日本女医会にとってまことに重要な年となると思います。何卒会員の皆様!!　一層の団結とご協力を切にお願い申し上げます。

日本女医会万博医療サービス参加計画

一、医療サービス動員計画表を本会々誌四十一号（二月十四日発行予定に掲載し、変更を確認し二月下旬名簿を万博協会へ一括申請する。

二、宿舎使用希望（会員、同伴者）
　三月〜五月…………二月末まで本部宛申込む。
　六月〜九月…………四月末まで本部宛申込む。

三、旅費一部負担金は支部長または責任者に一ヵ月以降小切手にて送金する。

四、左記書類を各会員に発送する。
　① 日本女医会医療サービス参加のてびき。
　　・万国博会場説明その他　・医療サービス参加会員名簿
　　・宿舎（3・D・K）について　・その他連絡事項
　③ 宿泊券（会員・同伴者）発行
　② 官製ハガキ領収書（旅費一部負担金）
　書類発送期日　三月〜四月　医療サービス参加会員に三月上旬
　　五月〜六月　医療サービス参加会員に四月二十日まで
　　七月〜九月　医療サービス参加会員に六月二十日まで

"日本女医会万国博医療サービス動員日程表"

昭和45年1月27日現在

3　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
15	日	東京女子医大学内	吉田　幸子	内	雨宮　禎子	内	吉田　聡子	泌	柳瀬　路子 細谷　繁美	外 眼	徳永恵美子 清　正子	耳 内	久保島和子 平井　福子	内 眼
16	月		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
17	火		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
18	水		〃	〃	〃	〃	〃	〃	矢野　文子	婦	清　正子 山崎　とよ	内 小	水谷　敏子 塚　雅子	眼 〃
19	木		〃	〃	〃	〃	赤沼　君枝	婦	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
20	金		大田　豊	耳眼	笠井　和	小	〃	〃	〃	〃	熊野　満栄 山崎　とよ	内 小	〃 〃	〃 〃
21	土		〃	〃	〃	〃	赤沼　君江 佐竹　測子	婦 内小	〃	〃	熊野　満栄 小林加世子	内 眼	西山　苑 堀　雅子	眼 〃
22	日		大田八重子	外	花輪　千春	外	喜里山慶子 竹内　静香	小 内小	大河原久子	内	〃 〃	〃 〃	西山　苑 小松　郁子	眼 内皮
23	月		〃	〃	〃	〃	喜里山慶子 山本登美子	小 眼	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
24	火		中山　文	婦	植竹　純子	婦	吉田美喜子	泌	〃	〃	熊野　満栄 日井　行子	内 眼	深沢優美子 小松　有子	眼 内皮
25	水		〃	〃	〃	〃	吉田美喜子 富樫　澄子	泌 内小 産	藤巻　竜江	耳	安住真理子 白井　行子	耳 眼	〃 〃	〃 〃
26	木		〃	〃	〃	〃	吉田美喜子	泌	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
27	金	神奈川他	中西　千鶴	眼	高橋　けい	内	近藤きぬえ	眼	陳　玉　満	産	上田　葉	内	石田　妙子 山本登美子	眼 眼
28	土		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	石田　妙子	眼
29	日		稲生　褒	内小	大岡　一子	内小	小野江いはほ	内	清水　貞子	内	松山　京子	内小	松沢　長子	小
30	月		今西　英恵	外	高橋　静江		小野江いはほ 政川　ゆき	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
31	火		〃	〃	泊谷　礼子	眼	政川　ゆき		柳瀬　路子	外	〃	〃	〃	〃

4　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	水	足立	中沢　弥生	小	小田　幸子	内小	石川きみ子	小	田島　静江	眼	中条　みよ 柳瀬　路子	産婦 外	海老原ふみ江	内小
2	木		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	柳瀬　路子 中条　みよ	〃 〃	〃	〃
3	金		〃	〃	小宮山節子	内小 産	羽生　道恵	耳	柳瀬　路子	外	中条　みよ	産婦	〃	〃
4	土		金子　康子	内小	〃	〃	〃	〃	野原カズ子	耳咽	〃	〃	江口　寿子	耳咽
5	日		江口　寿子	耳咽	村松　初枝	耳咽	〃	〃	原田　敏	耳	金子　康子 小宮山節子	内小 内小 産	野原カズ子 新家すみい	耳咽 耳咽
6	月		金子　康子	内小	魏　淑　蘭	耳	村松　初枝	耳咽	〃	〃	中条　みよ	産婦	新家すみい	耳咽
7	火		〃	〃	増田須磨子	小	松岡　初年	耳咽	永田　保子	内小	〃	〃	金木　政子	内産 婦
8	水		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
9	木	港	鈴木ハルエ	小	加島　なみ		仲　道子		阿部　十七	小	鈴木　文子	内小	伊藤　公子	眼
10	金		〃	〃	〃		〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃
11	土		小田原康子	耳	長田　京子		斎藤マコト		浦田とみ子	内小	大西　保乃 大沢フミエ	眼 眼	井上　幸子	内小
12	日		〃	〃	〃		松波　寿美 斎藤マコト	内小	松波百合子 浦田とめ子	整 内小	〃 〃	〃 〃	井上　幸子 河村　悦子	内小 内

13	月		小川喜代徳 関根　みよ	小 内小	河村　悦子 小野　昌子	内 耳	佐々木ヤス子 末藤　若子	産 〃	新田志ず子 及川富美子	耳 耳	岡　富美 臼井　潔子	耳 内小	藤尾　良枝 北岡アヤ子	
14	火	[illegible]	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	
15	水	栃	日向野ハツ	内	鈴木　行子	内	佐藤　松子 黒田　睦子	眼 内	長谷川美佐子	耳鼻	平尾　淑子	内小	大平　民子	耳
16	木	木	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
17	金	目	野間八重子	内小	磯村　光子	耳鼻	山岸　作	内小	佐賀カホル	眼	藤原　正	眼	浅利　てつ	内小
18	土	黒	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
19	日		秋元八千世	産内	大石　洋		児玉　琴枝	眼	古沢　サチ	産婦	佐々木直子 内田　とし	内小 産	松野　ふく 岡本　和子	内小 内小
20	月		〃	〃	安藤まさ子 大石　洋	整	〃	〃	〃	〃	佐々木直子 内田　とし	内小 産	〃 〃	〃 〃
21	火	杉	西尾　恵	内小	入江　民	内小	中里　玉子	内小	木下　利子	産内	福田　貞 森　トキ	内小 小	石原　彩子 藤田　武子	内小 産
22	水		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
23	木	並	瀬戸　俊子	産婦	森　千恵子	内小	照屋　正子	小	林　三穂		田中　春女 熊谷美津子	内小	三好　静香 大熊　良恵	小
24	金		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	三好　静香	小
25	土		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	三好　静香	小
26	日	千代田	池松　静香	眼	本間　静子	内	中村　酉子	内	五味　ミキ	内小	竹内　静香 山梨　はな	内小 内小	仁尾千枝子	眼
27	月	渋	藤原　良	内	小林いつき	産	宮島　寿子		小栗　元	産	土本　秋江 長山　トシ	産	小暮　要子	眼
28	火		岸　信	耳	〃	〃	有住　和	耳咽	小栗　元 宮島　寿子	産	新堀千代子 西山喜代子	産 小	小暮　要子 藤原　良	眼 内
29	水	谷	土本　秋江 長山　トシ	産	有住　和	耳咽	岸　信	耳	新堀千代子	産	森　文子 西山喜代子	小 小	小暮　要子	眼
30	木	五回生クラス会	根本マサ子	内小	池田満津子	内小 眼	畠山　宣	産	林　房江	内小	島田　梅子	眼	今西　和子	小

5　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	金	昭十一年クラス会	酒井　千春	内	宮崎　ミヤ	耳内 小	草野　恭子	内	渡辺　美子	産	松崎喜美枝 小原ツル子	内 内	側島　秀子 大河原キヨ	内小 眼
2	土		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	大河原キヨ 西垣　千代	眼 産
3	日		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	西垣　千代 松井　リツ	産 内小
4	月	栃	石塚　タケ		櫛引　悦子		大西　龍子	内	橋本　静枝	内	店網　敦子	眼	石川　敦子	小
5	火	木	〃		〃		〃	〃	〃	〃	林　さく代	産内	〃	〃
6	水			（	六　回	生	ク　ラ	ス	会　）		林　さく代	産内		
7	木	宮	大川　環姫	産	寺田　千鶴	内	梅原　ミヤ	小	加藤わたる	外産	林　さく代 長池　博子	産 産	千葉　広子	
8	金	城県	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	
9	土	他	〃	〃	〃	〃	梅原　ミヤ 大西　保乃	小 眼	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	
10	日	練	菅井　孝	内眼 小	関口喜久子	内小	中村　ゑん 大西　保乃	産 眼	八木下初江	内外	延易　秀子	内小	藤岡　邦子	産婦
11	月		神山　シヅ	小	〃	〃	中村　ゑん	産	〃	〃	菅井　孝	内眼 小	延島　秀子 藤岡　邦子	内小 産婦
12	火	馬、	〃	〃	佐野アヤ子	内	〃	〃	〃	〃	〃	〃	延島　秀子 中村ミヨ子	内小 産

13	水	台東他	田村　リツ	産	佐野アヤ子	内	中村　ゑん	内	中村ミヨ子	産	佐藤　はつ	産	阿部　秀世	小産
14	木		政川　ゆき	内	〃	〃	中村　ゑん 龍　知恵子	内 内	朝岡　栄子	眼	佐藤　はつ 服部世津子	産 内	中村ミヨ子 阿部　秀世	産 小産
15	金		〃	〃	〃	〃	龍　知恵子	内	〃	〃	〃 〃	〃 〃	中村ミヨ子	産
16	土		〃	〃	〃	〃	上田　薬	内	〃	〃	〃 〃	〃 〃	中村ミヨ子	産
17	日	千葉県他	和頴美和子	耳咽	間宮美恵子		和田小夜子		作田　静子	精	田島喜美子 橋本　あさ	婦 耳	平松　麗子	眼
18	月		犬飼　美世	〃	本橋シヅ子	婦眼	渋谷富美子		椎名		山元　清子	内小	東野　英子	産
19	火		発池瑠璃子	小	岡　紀美子	婦	栗原		宮本　みち	眼	武藤　キヨ	眼	吉野八重子	婦
20	水		町田　俊子	産皮	北村　玲子	眼	安西　愛子	婦外	渡辺　和子	内小	寺島　良子	小	北沢　スズ	眼
21	木		花岡　常子	内	田那村志津子	〃	三枝　慶	内	今井　千代	小	稲葉美佐子	小	三橋	
22	金		〃	〃	中川　ウメ	内小	〃	〃	田那村敬子	小	今井　千代	小	久田　タカ	耳咽
23	土	三神先生同窓生宮崎	町　静子	内小 産	広瀬　菊子	内小 産	稲田　秀		多田　深雪	内小	辻本セツ子	産内 小	仁瓶　礼子 岡本　梨枝	内小 婦 小
24	日		藤本フキコ	内小	〃	〃	〃	〃	竹田　静香 多田　深雪	内小 〃	松原　よね	内	仁瓶　礼子 松岡　たけ	内小 内小
25	月		井上　絹子	産	加藤　シゲ	眼	日野　俊子 稲田　秀	産	田宮　功	眼	佐藤　カネ 伊藤　サワ	内小 産	松原　よね 松岡　たけ	内 内小
26	火		〃	〃	〃	〃	日野　俊子 藤本フキコ	産 内小	〃	〃	〃 〃	〃 〃	野呂　たじ	内小
27	水		小山	内小 婦	唐沢　寿	内小	日野　俊子 中沢タネヨ	産 産	小暮　要子	眼	佐藤　カネ 阿部　年枝	内小 産	野呂　たじ 赤須　久代	内小
28	木		岡本　梨枝	小	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	内小
29	金		高垣　泰子	内小 眼	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	赤須　久代	
30	土	栃木	佐藤　菊子	内小	渡辺八千世	耳鼻	滝沢　テル	精神	山川　高子	耳鼻	岩本由紀枝	内小	日野　俊子 南里　栄子	産 婦
31	日		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

6　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	月	昭6クラス会	加藤　誠子	内	高間みさを	内	綾仁　伸子	内	佐藤千代子	婦	北川　満子 若木　しづ	眼 内	上野　はる 若江　百恵	眼 眼
2	火		玉田　まさ 進藤　みね	内 婦	上村　フミ 橋本　利江	内 眼	梶原　寿栄 山田　ます	内	佐藤千代子 綾仁　伸子 加藤　誠子	婦 内 内	若木　しづ 高間みさを	内 内	若江　百恵 上野　はる 北川　満子	眼 眼 眼
3	水	埼玉	荒井　糸子	内産	市川ちず子	内小	木戸　昭子	内婦	小川喜代徳	小	馬渕かのと 榛沢　芳江	内小 小	木村まさ子	小産
4	木		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃
5	金		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃
6	土	荒川、他	関川　明子	小	平沢千恵子	産	大西　保子 国保　綾子	眼 内小	日野千代子	内小	三輪　輝子 清水智恵子	小 内小	加藤　光子	内小
7	日		〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃
8	月	中野、高知	後藤　マン	内小	倉島　撰子	内小	村田　逵江	内小	三橋美和子	内小	寺尾　澄恵 窪　敦子	産 耳咽	山崎　操 中西真喜子	内外 耳眼
9	火		日野　真	内小	後藤　マン	内小	牧野　幸恵	小	勅使河原弘子	産	窪　敦子 寺尾　澄恵	〃 産	中西真喜子 山崎　操	内外
10	水		渡辺　キヨ	眼	長田　安代	内小	日浜　光子	内小	山崎　典子	眼 内産	高橋　絢子 上田　はる	産 小	高橋知愛子 浜田　美	内
11	水		長浜　レイ	内小	小野沢　純	皮	薬師寺成子	小	宮田　ユキ	眼 眼	上田　はる 高橋　絢子	〃 産	浜田　美 高橋知愛子	内
12	金		岡富　迪子	内小	柳　ハナ	内小	明石寿美子 高田　恭子	眼 小	田中　あや	眼 内小	楠目　節子 高木佐世子	内 眼	玉木美和子 浜崎　浜子	皮 耳

13	土	中高	倉富　孝子	内小	高木　松枝	小	明石寿美子 中山　年子	眼 産	高梨美家子	眼 産	小出つる子 竹村　陽子	耳咽 眼　眼	浜崎　浜子 玉木美和子	皮 耳
14	日	野知	松波　寿美 佃　　トミ	内 小	松波百合子 柳田　　年	整 小	明石寿美子 上木　艶子	眼 皮耳	赤垣美代子	眼 耳	吉川　　節 和田　信子	外内 小耳 外産	出原　輝子 竹村　陽子	内 眼
15	月		高橋　龍子	内	笠間　信子	内小	松原　歳枝	内	川村登美子	眼 内	高橋　温子	内	嘉屋　文子	内
16	火	広	木下　富子	内	多田　深雪	内	磯部　正子	小産	柴原　松子	内	高辻マサエ	眼	財満　　鈴	内
17	水		土本　秋江	内	日谷トナコ	眼	竹波　とし	肛	秋山　綾子	産	渡辺　正子	産	森永　道子	耳
18	木		〃	〃	望月　君子	眼	増田　文枝	精	佐々木富美子	精	青木　豊子	外	渡辺　正子	産
19	金		花木美智恵	外	西木イツノ	内産	〃	〃	〃	〃	〃	〃	中本かつ子	外
20	土	島	〃	〃	三宅チエコ	小	〃	〃	〃	〃	〃	〃	百島　喜江	産
21	日		富永　睦子 大前　友枝	内 内産	長尾スミ子 三登智恵子	内 内	有田　倭子 高土トシ子	内 内	山口ハル子 矢野ミチ子	内小 内	青木　豊子 坂井タマノ	外 内	藤原　宣子 黒瀬真規子	内 内
22	月	山	半田登喜代	眼	石川　敦子	小	川西ヒサ子	内小	金子　郁子		岸　　よし	内	牧野　ツヤ	耳
23	火		半田登喜代 小野田加津	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃	〃	〃
24	水	形	〃 〃		〃	〃			〃		〃	〃	〃	〃
25	木	和	田幡　喜子	産	忠波知重子	産	谷本　千鶴	産	中村　公子	外	三家トキヱ 松本恵美子	眼	藤並　時子	小
26	金	歌	堀内智恵子	内小	西　　キヨ	眼	山本　滋子	小	前田千代枝	小	松山　サヨ 柳瀬　好子	小	水口　雅代	小
27	土		石井　愛子	耳	石橋　昌子	産	笠松　　光	内外	小馬堀和子	内	坂口いさよ 藤森喜和代	内小 小	寒川シメ子	内小
28	日	山	根来すま子	産	成川千代子	産	大谷　桂子	耳	豊沢　照代	眼	竹内　静香 玉置　政子	内小 内	鈴間伊登子	眼
29	月	岡	内田　芳江	産	山名　管子	眼	高岩　文子	内小	五十嵐郁子	小	金重　律子	産	熊代　寿子	眼
30	火	山	土井　雅子	耳咽	林　　益美	内小	折橋　秋子	外麻	河野　ヒサ	産	井口与忠子	外	小川　富美	内

7　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	水													
2	木													
3	金				（大	阪	・　近		県　支	部）				
4	土													
5	日													
6	月				（6	回	生　ク		ラ　ス	会）				
7	火				（大	阪	・　近		県　支	部）	荒井　系子	内産		
8	水		岡本　久栄	耳	森下うめの	眼	伊藤　かほ	眼	服部　環江	小	石川　美重	眼	小野田依子	小
9	木	静	〃		〃	〃	〃	〃	〃	〃	石川　美重 小川　幸枝	〃	小野田依子 上原　洋子	小
10	金		坂中		中沢　稙代	産	本多		内田やす子		小川　幸枝		上原　洋子	
11	土	岡	加畑かすみ		〃	〃	酒井　やえ		岡部　美代	小精	田中しづ江 明石　み代	内小 外皮	仁瓶　礼子 山内　千枝	小産 内小
12	日		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
13	月	県	河井　芳枝	耳	土屋　よの		松木　とし		内田やす子		仁瓶　礼子	小婦	本多　ちよ	産
14	火		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

15	水	栃木他	田島　知恵	内	（大	阪	・　近		県　支	部）				
16	木		〃	〃	（昭	和	10　年		ク　ラ	ス）				
17	金		宮本　貞子 宮池　民子	内 眼	有光　桂子 宇山美代子	外内 眼	成味久美子 河合三千枝	内 内小	赤松紀久子 柏村　翠子	眼 内	大西　寿子 林　胤子	小 保衛	森　秀子 萩野寿満子	内小 眼
18	土		黒田　蕉 黒川ヒサエ	眼 内	池田リエ子 国枝　菊枝	眼 小	満田　悦野 深江恵美子	眼 内	平岩　一子 三浦　仲子	小 小	篠田富美子 宇田ツタ子	内 小	立入　節子 河本マサ子	小内 耳
19	日	兵	大山　静子 豊原　昌子	内小 内婦	火伏　華 高橋富久子	眼 内小	三井　淳子 藤本百合子	内産 産婦	千島チエ子 八十嶋淳子	神内 内放	若松　千代 谷口英慈子	眼 内小	野村すみ子 繁田いちゑ	小 眼
20	月		中島　真弓 中村メグム	耳	多田　貞子 高橋　静恵	内小 内小	田中　道子 川口　哲子	産婦 内小	佐野美智子 高井　禹子	内耳 眼	古川　妙子 宮本　貞子	放眼 耳	渡辺トシエ 常岡　弥生	外 内産 婦
21	火	庫	村田　夏 安田　信子	耳 眼	木村　文子 滝口　武子	小 内小	平野多津子 木村久美子	内小 耳	仲居　公恵 国井　悦子	内小 産 小	押田三枝子 道本　艶子	内 産婦	金井　麻子 高岡　英子	眼 内小 婦
22	水		江原　君 山本　礼子	産婦 内	須藤　昭子 藤本クキ子	内 内小	波田　卓子 飯田マツノ	内小 放 産婦	法西智恵子 南堂　和子	内小 内小	好住やう子 小林　アヤ	眼	寺川　玉枝 岸本　美子	内婦
23	木		西岸すずえ 西田　君子	内 産内	中村美代子 河村　敏	小 耳	広畑　昭子 山城　革子	内 小	岡崎　光子 桑名　弥生	内 内	河合　礼 黛　喜久子	内 内	恒光　敏子 河本まさ子	内 耳
24	金	県	植村　鈴子 山鳥　依子	眼 内	小山美加尾 福井　生子	眼 内外 耳	田口　倭子 宇野　美智	内	玉井　沢子 松田　繁子	眼 小	山口　ち江 大西　寿子	内小 耳 小	林　胤子 森　秀子	保衛 内小 眼
25	土		戸田　静子 酒木　智子	内小 内小 耳	兜坂　里江 古林　文子	眼 内	滝野シヅエ 野本やおい	耳 産婦	川上とも子 金田ふみ子	眼 内	長田佳代子 半田かず子	産婦 耳	矢木　泰子 丸山　玉枝	眼 外眼
26	日		松尾　周子 曽雨てる子	内小 内小	古門フキエ 山本　真澄	内小 内	舟家　雛子 仲上　徳子	耳 小眼	山本　節子 東郷三千子	眼 内	田辺　静子 西崎　英子	内眼 小	滝川　和子 吉保　繁	内 眼
27	月													
28	火													
29	水				（大	阪	・　近		県　支	部）				
30	木													
31	金													

8　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	土	東京女子医大学内	安藤みずか		尾曽越和子		神田いく子		上山　礼子		高野かずえ 雨宮てい子		森田	
2	日		〃		〃		〃		〃		〃 〃		〃	
3	月		〃		〃		〃		〃		〃 〃		〃	
4	火		〃		〃		〃		〃		〃 〃		〃	
5	水		〃		〃		〃		〃		〃 〃		〃	
6	木	武蔵野	吉田　実子	婦	村松　清江	内小	清水五百子	内小	山崎　倫子	皮内	廖　阿　敏 新藤ケイ子	内小 内小 耳咽	波志　波子 榊原　ヨシ	眼 小
7	金		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃
8	土		大島　喜美	耳	近藤キヌエ	眼	徐　玉　満	産婦	二木　昌子		小島　桂子 原田　住江	内小 眼	田原　順子	小
9	日		〃	〃	〃	〃	〃	〃	林　てい	内	〃 〃	〃 〃	〃	〃
10	月	埼玉、宮城、長野他	源川千鶴子	内小	西原　潔子	小	上条　正子	内産	佐々木英子	内小 神	筒井喜美代	耳	福永ひろ子 森　千鶴	内耳 眼 内小
11	火		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃 〃	〃 〃
12	水		〃	〃	〃	〃	桂島　教子		〃	〃	中村　マサ 芦沢　久子		鎌田　宣子 安部　マサ（みやぎ）	
13	木		佐々木道子 加茂　雅子	内小 耳	仁羅山紀久子 出口　雪枝	耳 内小	佐藤　和子 渡辺　なよ	内小 内小	桂島　教子 佐々木英子	内小 神	〃 〃		〃 〃	
14	金		〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃	〃 〃		〃 〃	
15	土		松村　敦子	内小	諸橋　たけ 桐生　幾代	内小 小	山口　三重 丸山　英美	産 内小	吉沢　ひで 野見山和子	内 内	明石　み代 北浜　博子	外皮 内 小	長谷川はじめ 杉崎千登子	小
16	日		桐生　幾代	小	森　千鶴	内小	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃 〃	〃

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
17	月	太田	木原シヅ子	内	安田智恵子	内	安田　宮子	眼	天沼　恭子	眼	中川　富士 曽山　文江	内 婦	森　千鶴 飯沼さち子	内小 内
18	火		柴田　洋子	神	小林ヤエノ 斎藤寿賀子	眼 婦	森　千鶴 近江　久子	内小 内	松井　とし	内	中川　富士 清水　有子	内 内	荒瀬　愛子 平川　ミヱ	内 内
19	水		近江　久子	内	荒瀬　愛子	内	松井　とし	内	平川　ミヱ	内	中川　富士 柴田　洋子	内 神	斎藤寿賀子 小林ヤエノ	婦 眼
20	木		真鍋　昌子	内	石川ハルノ	内	森竹富美江	婦	永尾　きみ	眼	中川　富士 鮫島寿美江	内 内	大沢　志ず 渡辺　智恵	内 耳
21	金		〃	〃	伊藤　恵子	眼	小林　貞子 及川　貞	内外 内	高野　澄子	耳	中川　富士 南雲　君代	内 内	白橋　美笑	外
22	土		宮崎　よし 白橋　美笑	眼 外	緒方キヨ子 小林　貞子	耳 内	小林　貞子 内野　洋子	内外 外	吉原　次枝 大橋　鎮子	産 耳	木村　光子	内	坂本イクヨ 池田　セイ	内 眼
23	日		白橋　笑美 緒方キヨ子	〃 耳	池田　セイ 上田いと子	眼 眼	小林　貞子	内	竹内　静香 吉原　次枝	内小 婦	木村　光子 宮崎　よし	内 眼	坂本イクヨ 大橋　鎮子	内 耳
24	月	奈良、京都			（奈		良			県）				
25	火													
26	水		横江倭文子 片岡　昌子	小	俵　墨江 高岡えり子	内 小	飯田　こう 田中　安	内 内	吉田　菊子 芳村マサヱ	内 内	藤谷　栄子 山中　信子	婦 内小	山本　慶枝 潮田智恵子	内 内
27	木		武藤　操 幸寺　道子	小 小	阿座上　和 阿原　敦子	内小 婦	井上　スミ 樋口　綾子	内 内小	松繁　笵子 牟礼　幾代	外 内	妹尾あさゑ 平松　和恵	内 眼	中川　明子 平岡　要	内 産
28	金		金倉　広 有原　吉栄	眼 婦	蒲田　迪子 田代　芳子	内 耳	ト部美津子 北村　艶子	眼 内	林　育美 守屋　翠	眼 内	田代　初恵 万井　康子	眼 小	山田　富子 滝本百合子	小 小
29	土	岡山	飯尾　孝子	耳咽	小川　文子	内	塩見　房子	耳咽	宮尾　霭子	耳	山内　尚子	小	林　愛子	内産
30	日		津田　操	内小	稲葉　花圃	小	多　賀葉	内	河合　和子	内小	本倉　喜美	眼	石井　雅枝	内
31	月				（大	阪	・　近		県　支	部）				

9　月

日	曜日	支部	月曜広場		火曜広場		水曜広場		土曜広場		シンボルゾーン		エキスポランド	
1	火													
2	水													
3	木				（大	阪	・　近		県　支	部）				
4	金													
5	土						川西ヒサ子	内小			木原シヅ子 松井寿美子	内小 内外		
6	日						〃	〃			〃 〃	〃 〃		
7	月	愛知	森川みどり	眼	田辺かすみ	内小	田内　静香	内	渋谷　朝子	産	西垣千代子	眼	佐藤千代子	内
8	火		古橋美智子	内	磯部　貞子	内小	山田　笑子	眼鼻	山本美代子 山崎　峰子	耳眼 皮	杉浦　芳枝	小	富田　綾子 内藤　仁	眼 内小
9	水		千原うえよ	産	伊藤　二葉	内小	磯部　貞子	内小	牧野　文子	産	松岡　宏子 佐分　妙	産 整外	藤本佐賀枝	内眼
10	木		酒井　久子	眼耳	松岡　宏子 藤村　静枝	産 内小	溝口すま子	内小	新美　静江 磯部　貞子	小 内小	稲熊　千代 岡田とみ子	内小 産	佐藤　きみ 前田いね子	産
11	金		黒川　道江	内眼	松岡　宏子 戸刈登志子	産	千原うえよ	産	渡辺　文子	眼	磯部　貞子 杉浦　よね	内小 小	坂堂美都子	耳
12	土		小倉　陽子 苅谷　愛	眼	杉田　合	眼	瀬尾　あや	産	星野　和子 手島　澄子	内小 眼	椙川ふさ子 藤　高栄	眼 眼	藤田　とし 水谷たづ子	産小
13	日		今村　俊子 平野ミス子	眼	山本美代子 近藤　和子	小	加茂　裕子 奈倉　早苗	産	田中　くに	内小	瀬尾　あや 藤岡　とし	産 産小	渡辺　文子	眼

以上掲載しました医療奉仕日程表は二月末まで万国博協会へ提出しますので，止むを得ない事情のため変更される方は大至急本部までご連絡願います。

万国博医療奉仕の宿舎について

宿舎の所在地…大阪府豊中市新千里南町一丁目八十一番地

宿舎の型状……鉄筋コンクリート造五階建3・D・K三戸

宿舎・会場との交通機関について
医療サービスされる会員の方に後日郵送いたします。

宿舎の設備
・自炊可能（冷蔵庫、電気釜、トースター、鍋、その他食器類、調味料など）
・冷暖房（扇風機他）
・浴室有り。

宿舎使用規定
この宿舎は万国博期間中、役務提供者の便宜のため、日本女医会が確保したものです。
医療サービスされるための宿泊は無料です。

同伴者について
同伴者の宿泊は原則として医療サービスされた会員の家族の婦女子に限る。（男子満十二歳までは可）ただし、この宿舎の同伴者収容人数は五～六名ですので宿舎を利用する会員の多い場合、お断りすることもあります。後日宿泊申込みをとりますので必ずご提出願います。

宿泊料金――千円
医療サービスされた会員が見物のため宿舎を利用する場合は同伴者と同様にみなします。

私のかくれ"蓑"百三歳の母

神奈川県・二宮　岡本さかき

元日、おせち料理の箸をとっている最中、電話のベル。
「あら、森先生、おめでとうございます」
「日本女医会の一月号にお母様のこと書いて下さらない？」
「まあ、母は看護婦だったのよ。医者でなくてもいいの？」
「私達の中で百三歳のお母様がいらっしゃる方ないでしょう。おめでたいですもの。」
「そう、じゃ紙面を汚すだけでよかったら。」
というわけで、お正月のお飾りの伊勢海老位のつもりで、私は百三歳の母のことを書くはめになってしまった。
四、五年前、同じ二宮住民の先輩、小野江いはほ先生から、母が百歳になったら「寿」という字を書いて頂戴と頼まれ、「もうこれきりで書かないよ」と言いながら、母が百歳の誕生日に書いてくれた色紙を、小野江先生に差上げたら、先生から「老の書でなくて、本名を書いて下さらない」と言われた。「老のというのは母の本名で、生れる前から老のだったのよ」と私は答えた。というのは、私の祖母が、男の子を生んだ夢をみて、その話を漢学の先生にしたところ、老之進という名前をつけなさいと言われ、生れてみたら女の子だったので、進をとって老のにしたのだそうである。母が小学校に入ったとき、先生から名前をきかれ、「上野老の」と答えると、「自分の名前におをつけてはいけない『いの』と言いなさいと叱られ、又同志社時代（母は新島襄によって明治十九年に同志社内に創立された京都看病婦学校の第六回卒業生である）アメリカ人の先生達から、「おきなさん」と呼ばれたと、母はおかしそうに話したことがあった。
母は同志社時代にプロテスタントの洗礼を受け、以来八十年の信仰生活をつづけている。母が私の父と結婚したのは明治三十一年だったから、慶応二年十二月生れの母は、満三十一歳だった。翌年私の長兄が生れたが、高年初産の鉗子分娩で、難産の結果、兄は脳性麻痺児として母と共に重い十字架を背負わされてしまった。母は「今の人は仕合せだ、帝王切開が出来るから」とよく言う。この兄の教育に心を砕く他、姑の世話、父の妹三人の教育、それから年児のようにつづいて生れた私達六人の子供の世話、その上ワンマンの父。父は米国レーン及びユニオンセミナリで神学、コロンビア大学で哲学を学んだ後、ウエスタンリザーブ大学で医学を修め、欧洲留学の後帰朝、医者となり、母と結婚し、後実業家に転身したのであるが、時計のような正確さと厳しさで家族に対した。そして母はそれに黙々として耐えていた。この父も、私の六人の兄妹達も今はこの世にはいない。
寸暇もないと思われるような生活の中から、母は日曜には教会に行っていた。私はいつも母が私達の為に祈ってくれているという確診を持っていた。それで学校の試験の時には、母が祈ってくれているから大丈夫だと思っていた。私が医者になってからも、母に一言「今日はこういう手術があるのよ」と話しておくと、手術をしながら、母が祈ってくれていると安心していられた。
百歳を過ぎた母の為に、方々から旨しいものや珍らしいものを頂く。そんなとき母よりも、私や他の者が殆ど食べてしまうことが多い。又ひとに会いたくないときや会合に出たくないときなど、母はよいかくれ簑になってくれる。即答できないような時なども、母に聞いてみますと言って、時間を稼ぐこともできる。又この頃習い始めた私の下手な南画をみても、母はきまって小さい子供に言うように「よくかけたね」と言う。一体いつまで母は私を保護してくれるというのだろう。
このお正月二日、東京から姪が重い風邪で、医者様が皆お休みでみて貰へないと転がりこんで来たことから、一家に風邪が蔓延してしまった。私も三十九度に近い熱を出し、それをおして働いているうちに、母にうつり、忽ち母は身動きもできなくなってしまった。
老人の丸太のように浮腫の来た脚を私は眺めながら、今は蝋燭の燃えつきるのを見守る思いである。百三歳となっても人が死ぬのは、やはり病気によるのだと妙なことに感心しながら。長い間の私のかくれ簑が、やがて失われてしまうことに思いを馳せながら。
（一月十三日記）

万国博寄付金
五、二三八、五四二円

昭和四十四年十二月末日現在

大東京火災三輪支店、三共株式会社、富士銀行鶯谷支店、田辺製薬株式会社、三菱銀行台東支店、エーザイ株式会社、科研薬化工業株式会社、ドイツ女医会、富士銀行中野支店、日立レントゲン株式会社、日本ルセル株式会社、台東ファイザー株式会社、富士銀行新宿支店、富士銀行上野支店、島津製作所、千代田レントゲン株式会社、東芝放射線株式会社、安田信託銀行

紙面の都合により会員寄付ご芳名は次回会誌に掲載いたします。

昭和四十五年二月十日印刷
昭和四十五年二月十五日発行
編集人　森　千鶴
発行人　日本女医会
発行所　東京都新宿区市ケ谷河田町19
社団法人　日本女医会
印刷所　東京都港区白金五-四-一
TEL(341)〇九六八
興栄美術印刷株式会社

題字　吉岡弥生